

令和7年度の人事異動について

令和7年度は、第5次川西町総合計画の最終年次であり、第5次総合計画の検証評価、町民ニーズの把握や現状分析を踏まえ、共生社会の実現と持続可能なまちづくりを目指し、令和8年度からの第6次川西町総合計画を策定するための準備期間となる重要な年である。

また、令和7年度は、川西町誕生70周年の節目の年にもあたり、先人の幾多の偉業とご労苦に改めて感謝しつつ、本町のさらなる振興発展に向けた決意を共有し、未来の川西町に繋げる重要な年でもある。

組織体制については、行政管理改善委員会からの答申を踏まえ、課の再編、所掌事務の見直しを行うとともに、係制を導入した。さらに、現組織体制の課題対応、令和7年度の事務事業等を見据えた変更等を行なった。

具体的な人員配置にあたっては、現下の行政課題に対し、柔軟かつ機能的に対応できるよう適材適所となる配置に努めるとともに、人材と組織の育成を目指し、ワークライフバランスの推進、組織の活性化、職員の士気高揚に意を用いながら、下記の基本方針に基づいて行った。

◆ 令和7年度人事異動基本方針

1 組織改編と安定的な組織運営

係制の導入をはじめ、新たな組織体制下でも、継続的、安定的な組織運営が図られるよう人員配置を行った。

2 女性職員の積極的登用

将来を見据え、意欲と能力を兼ね備えた女性職員を積極的に登用、昇任に努め、幅広い分野の経験を積むことにより、組織の活性化を図った。

3 課長級の異動

町行政の中枢を担う管理職として、各分野における課題に的確に対応できる配置とした。

4 課長補佐、係長級の異動

各課において、課長補佐となる職員を複数名配置しながら、業務の円滑化に配慮した。また、将来、本町の重責を担う人材育成のため、町行政の多様性を認識し多角的に掌握できるよう、資質の向上及び能力開発が図られる配置とした。

5 定年延長、再任用職員の活用

今までの知識、技術、経験を活かし、即戦力として更に活躍できる配置に配慮した。

◆ 組織の改編について

1 総務課の再編

危機管理業務については、総務課に配置し、指示系統の充実を図り、管財業務とともに、防災管財係を設置した。

2 企画財政課の新設

企画部門と財政部門を統合し企画財政課を新設した。町全体の方向性を明確にし、スピード感のある事業執行を図る体制を構築した。

川西町第6次総合計画策定業務のため、担当の課長補佐を配置するとともに、総合計画係を設置した。

デジタル社会への対応のため庁内及び町内における情報化施策を一本化し、広報統計業務とともに、情報統計係を設置した。

3 政策推進課の再編

第5次川西町総合計画、後期基本計画のリーディングプロジェクトであるメディカルタウン整備事業及び地域振興拠点施設整備事業を一体的かつ着実に事業執行を行うため、政策推進係を設置した。

地域振興に係る業務を行うため、地域係を設置した。

4 税務会計課の再編

契約に係る業務を配置し、会計業務とともに、会計契約係を設置した。

5 住民課の再編

生活安全に係る業務と空き家に係る業務を配置し、近年、増加、複雑化する空き家対策について、窓口の一本化を図り、環境衛生業務とともに、生活環境係を設置した。

年金保険グループの年金業務と戸籍住基業務を統合し、戸籍年金係を設置した。

6 健康子育て課の再編

医療給付業務を配置し、地域医療に係る分野とともに、医療係を設置した。

7 農林課の新設

本町の基幹産業である農業施策の充実を図るため、農業に係る業務と農地林務の業務を統合し、農林課を新設した。

8 商工観光課の新設

商工業の振興及び観光、交流施策の充実を図るため、商工観光業務と交流に係る業務を配置し、商工観光課を新設した。

9 地域整備課の再編

上水道業務については、今後も上水道の安定供給、健全運営及び次世代への人材育成を図っていくため、上水道業務係と上水道工務係に分離し、組織体制の強化を図った。

◆ 令和7年度人事異動の内容（幼稚園教諭、保育士を除く。）

1 異動者

異動発令総数 1 3 1 名

昇任は、課長補佐級 2 名、係長級 2 名

(1) 課長補佐級 佐々木満樹、菊地絵梨子

(2) 係長級 石川美咲、五雲寺良

2 新規採用者

令和7年4月1日付け採用予定者 4 名

横山悠那、坂野智寛、村上拓也、秋山多恵子